

LANDSCAPE ARCHITECTURE OFF CAMPUS PROGRAM

軽井沢 特別開講のお知らせ

現在、軽井沢のカラマツ林の中に出来る新しい医療や福祉施設の拠点「ほっちのロッジ」の設計を進めています。建築設計はアタカケンタロウさん（パトラック+3916）、ランドスケープ設計はプランタゴが担当しています。

道路を隔てた敷地では、来年4月開校予定の軽井沢風腰学園が建設中です。こちらの設計監理は仙田満さん（環境デザイン研究所）が担当されています。

ほっちのロッジのカラマツ林の林床は200種類もの植物で覆われています。ほとんどが在来種で帰化植物はわずかで軽井沢らしい林です。建築部分と駐車スペース部分の林床の表層植生を建設工事に先だち、スキとって運び出し保全して、ランドスケープに活かそうと考えています。

この「表層植生のスキとり作業」に是非参加してください。

表層植生をスキとり利用することは、浜名湖畔の「地球のたまご」計画で十分な実績があります。

「地球のたまご」では79種類確認された表層植生を8月にスキとり数キロ運搬し仮植し、1年後に定植しました。スキとり、運搬、仮植、養生、定植の一連の作業は、当時のOMソーラー協会の職員全で行いました。15年を経て浜名湖畔の環境修復を目指した水源林を構成する植生となっています。

作業の手順は

- ① スコップ（剣スコ）を垂直に踏み込んでスキとる表層植生を芝生大に切り込む。
- ② 切り込んだ表層植生を表土（厚さ7cm程度）と共に、スコップを水平にしてスキとる。
- ③ スキとったもの2つをカゴトレーに入れて運び出し所定の場所に集積する。

以上です。

作業初日は植生物調査専門家の荒井浩司さんに植物の同定をしていただきます。

3日間開催しますので、参加できる日に出来るだけ参加してください。

初めての人もふるって参加して下さい。

プログラム 『カラマツ林床の表層植生の保全活用』

植物の個性を生かす創造的な管理作業に参加しよう。

ゲストインストラクター：荒井 浩司さん（翠嶺舎植物調査事務所）

協力：富士植木／小島和夫さん、ゴバイミドリ／宮田生美さん、

受講料：ナシ

日時：2019年7月13日14日15日 の3日間

集合・受付（現地） 09:30 ~ 9:45

オリエンテーション 10:00 ~ (田瀬理夫、荒井浩司)

作業（林床植生のスキトリ） 11:00 ~ 12:00

13:30 ~ 16:00

会場：ほっちのロッジ建設予定敷地（長野県軽井沢町大字発地字中山 1274 番 10）

JR 軽井沢駅よりタクシーで 15 分ほど

定員：制限なしですが、事前の参加申込が必要です。

持ち物：お弁当、剪定ハサミ、軍手、タオル、帽子、長袖シャツ、飲み物など

※天候に合わせ、厚さ対策、雨対策、虫除けは各自お願いします。

申し込み先（学生コーディネーター）：田木日奈子（千葉大） e-mail：tango551013@gmail.com

（集合～解散のスケジュールの詳細は当日までに変更になることもあります）

Support：富士植木 小島 和夫さん e-mail：kojima@fujiiueki.co.jp

当日不明な点は小島さんまでお問い合わせ下さい（当日のみ 小島携帯：090-4098-5379）

主催：プランタゴ（田瀬理夫） e-mail：plamtago@carrot.ocn.ne.jp